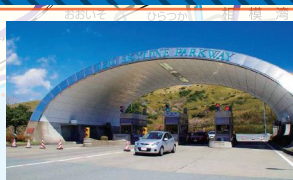
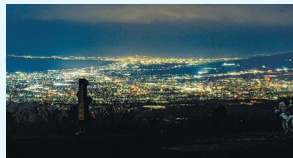


「魅力」あふれる伊豆スカイライン

静岡県道路公社が運営する一般自動車道の伊豆スカイライン(延長40.6km)は、首都圏等から伊豆観光地へ訪れる利用者のゲートウェイとして、景観・眺望を楽しむ有料の観光道路です。また、災害時には、命の道としてネットワークを形成する第2次緊急輸送路に指定されているほか、国道135号が災害により通行止めとなった際には、県からの要請により、迂回路として無料開放する道路となっています。



1 熱海峠料金所
伊豆スカイライン北の玄関口



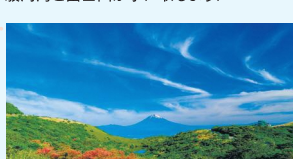
2 滝知山園地
西の駿河湾・東の相模湾も一望



3 滝知山駐車場
熱海海上花火・初日の出の特等席



4 萱場駐車場
駿河湾と富士山が手に取るように



5 玄岳駐車場
展望デッキから富士山・相模湾が望めます



6 多賀駐車場
相模湾に昇る日の出が目の前に



7 巢雲山駐車場
雄大な富士山がすぐそこに



8 天城高原料金所
伊豆スカイライン南の玄関



伊豆地域の未来を支える道路ネットワークを目指して

伊豆中央道・修善寺道路の利便性向上

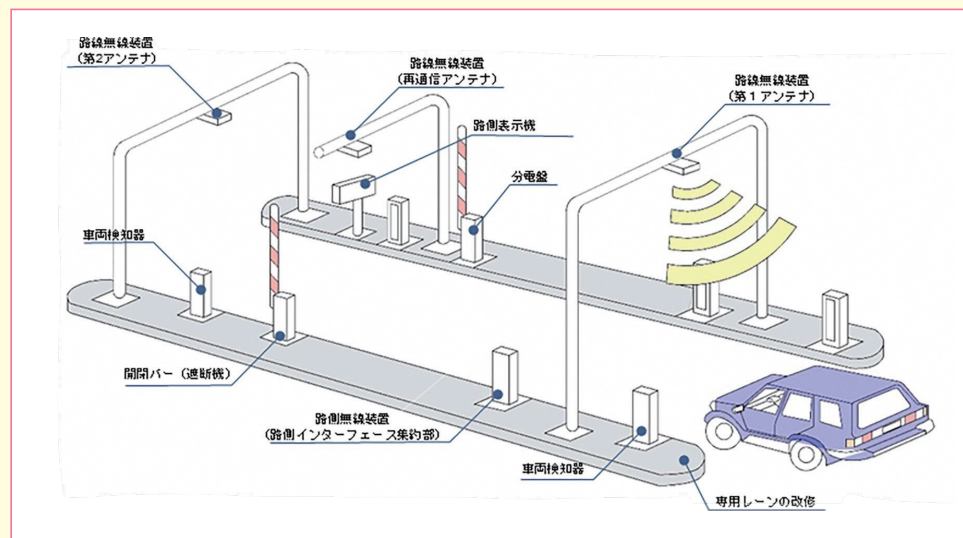
伊豆中央道・修善寺道路の利便性向上に向け、2026年度末までのETCの運用開始を目指し、取り組んでいます。

- ・現在、江間料金所・大仁料金所にETCを導入する取組を進めています。
- ・今後、ETC機器等の詳細設計や製作、レーンの改修、設置工事などを進めていきます。
- ・現道の交通を確保した上で工事を実施するほか、料金所職員の安全確保を目的とした立体通路の新設、受配電設備の改良や専用レジの設置などの工事を実施します。

スケジュール(予定)

項目	内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
検討業務 ・導入検討 ・基本計画策定 など	検討業務					2026年度末までの運用開始を目指す
ETC機器 ・車両検知器 ・無線装置(アンテナ) ・開閉バー(遮断機) ・表示機器 ・サーバ機器 など	設計業務					
	機器製作 工事					
現地施設 ・専用レーンの改修 ・立体通路(安全通路) ・新ETC室(サーバ室) ・受配電設備の改良 ・料金機械(専用レジ) ・事務所の建替	設計業務					
	工事					

ETC専用レーンのイメージ



※各料金所においてETC専用レーンを上り線1レーン、下り線1レーン設置します。

※道路公社がETCシステムを利用できるよう、高速道路会社のETCシステムの中央サーバ等を改修します。

ETCはETCXと違い一旦停止しないため、
職員の安全な横断のために立体通路が必要

<イメージ>



<イメージ>



国道414号静浦バイパスの整備

2037年度の完成を目指して、国道414号静浦バイパスの整備に取り組んでいきます。

- ・沼津市内の供用済区間との接続部において、地盤改良や橋梁下部工事を実施しています。

工事の様子(沼津市大平)



橋梁下部工事(橋を支える杭を地中に建設します)



伊豆縦貫自動車道の早期全線開通

「命の道」となる伊豆縦貫自動車道の日も早い全線開通に向け、建設促進期成同盟会の会長である知事を先頭に取組を進めています。

全線開通に向けた県の取組

- ・2024年7月には、国会議員をはじめとする関係者を招き東京で促進大会を開催し、伊豆地域の悲願である早期の全線開通を国へ求める決議を採択しました。
- ・また、2024年10月、鈴木知事が建設中の河津下田道路(Ⅱ期)について、国土交通省沼津河川国道事務所の説明を受けながら、進捗状況を直接確認しました。



工事の進捗状況(河津下田道路Ⅱ期)

